

概要

令和6年2月の測定結果については、以下のとおりです。③の地点において、浮遊物質量が26 mg/lと基準値を超過していました。測定日の直前の2月21日から25日まで降雨が続いた影響で、河川の濁りが生じていたことが要因と思われますが、工事の影響をより把握するため、晴天が続いた3月11日に再測定を行いました。③の地点における再測定の結果は、7 mg/lと前月までと同程度の結果を示し、基準値を下回っていました。このことから、浮遊物質量の基準値の超過は一時的なものであり、測定日（2月26日）の前日まで続いていた降雨の影響が残っていたものと考えられます。ただし、万が一のため、これまで実施してきた対策（沈砂池の設置、濁水プラントの稼働）に加えて、③の地点上流にある既設のえん堤内にも新たな対策（沈砂池の設置、水路内にろ過材を設置、えん堤内の浚渫）を実施します。

表:河川水の測定結果

測定業者:(株)東洋技研

測定地点	測定項目	採水日						環境影響評価調査時 (R2.5~R3.2で4回測定)				基準値※
		R5.10.25	R5.11.22	R5.12.20	R6.1.23	R6.2.26	R6.3.11(再)	R2.5.13	R2.8.25	R2.10.19	R3.2.12	
河川水①	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1未満	1未満	1	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度(度)	0.5	0.4	0.4	0.4	0.7	0.3	0.6	0.4	0.6	0.2	-
河川水②	浮遊物質量(mg/l)	3	1未満	1未満	1未満	4	1未満	1	3	4	1未満	25
	濁度(度)	2.4	1.2	0.9	0.5	4.5	1.3	0.6	1.0	1.5	0.4	-
河川水③	浮遊物質量(mg/l)	4	6	6	4	26	7	1	4	2	1未満	25
	濁度(度)	3.1	6.0	5.8	3.8	19.1	6.5	1.1	1.0	1.1	0.7	-
河川水④	浮遊物質量(mg/l)	2	2	9	2	11	3	2	1未満	1	1未満	25
	濁度(度)	1.6	2.5	9.4	2.5	10.6	3.2	2.5	0.5	0.6	0.3	-

※ 日下川が水質汚濁に係る環境基準類型Aに指定されていることから、類型Aの浮遊物質量の環境基準値を採用。なお、濁度は環境基準値がありませんが、浮遊物質量と相関が高いことから、あわせて測定しています。

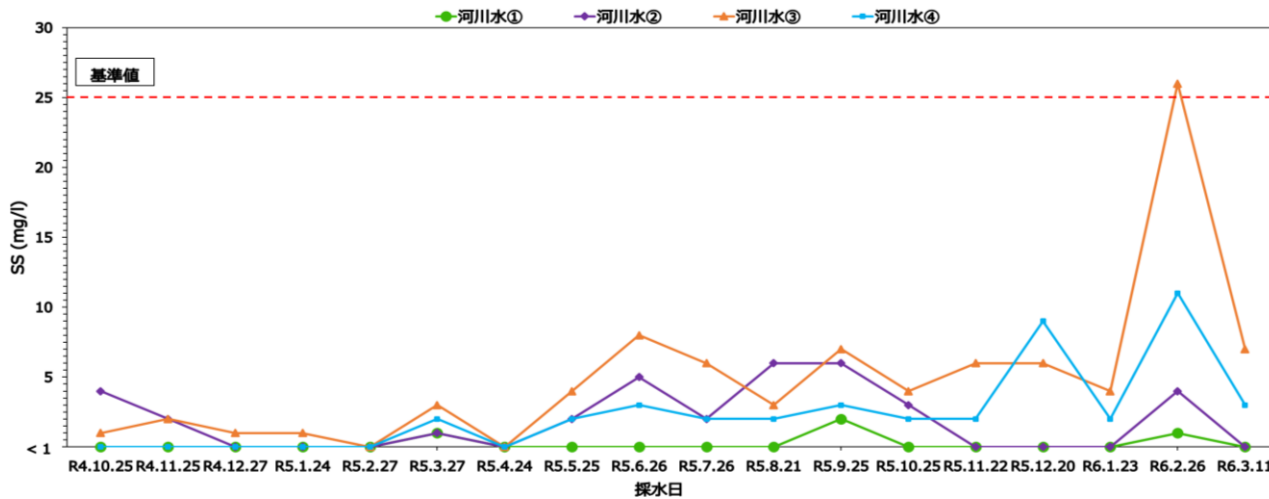


図1: 河川水の測定結果 (SS:浮遊物質量)

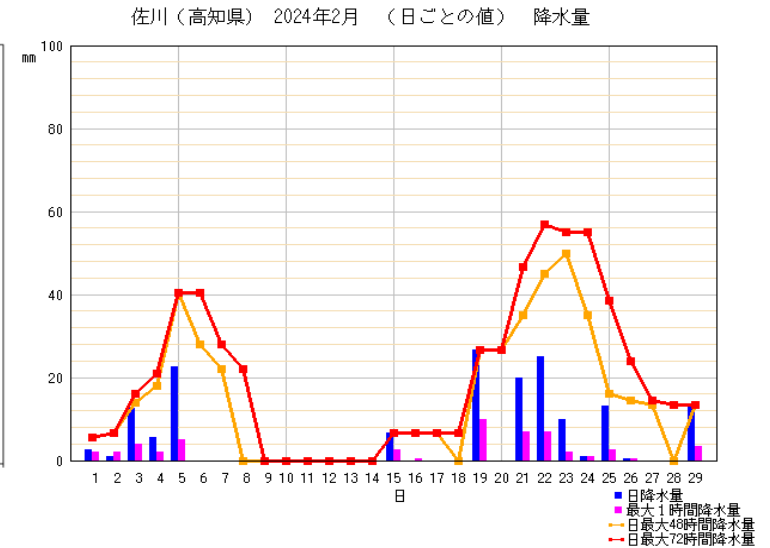


図2: 令和6年2月の佐川町の降水量

(出典: 気象庁ホームページより)

概要

令和6年2月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っております。

表:降下ばいじんの測定結果

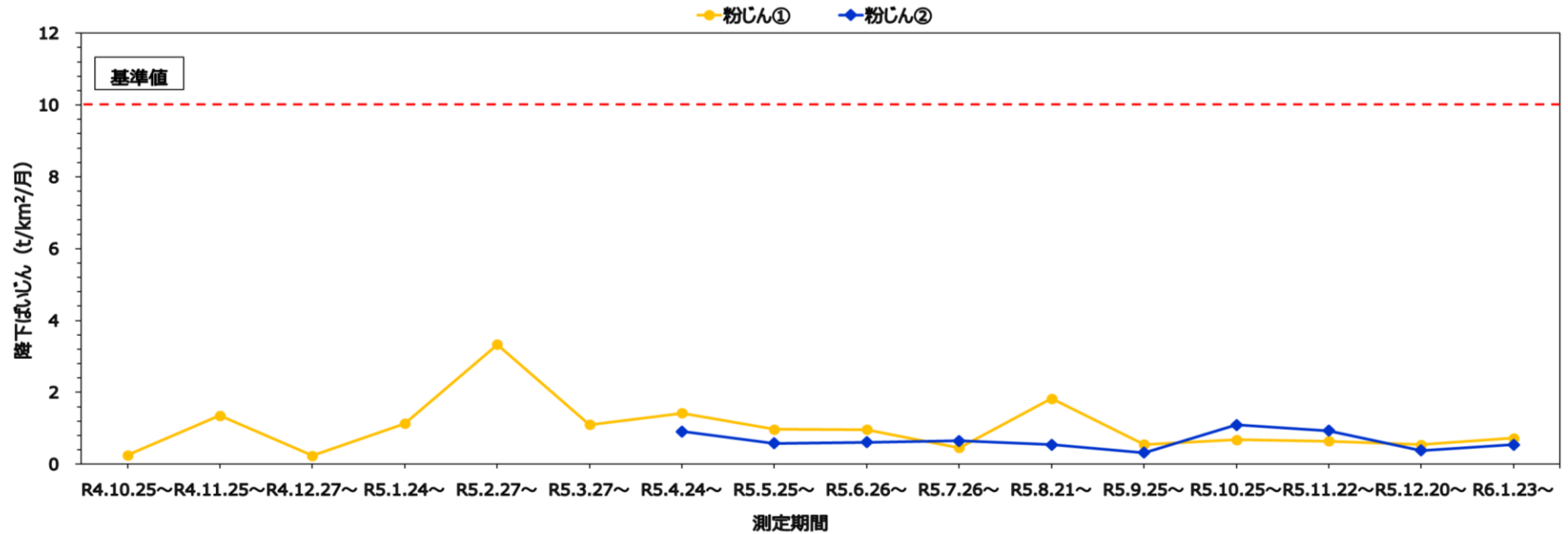
測定業者:㈱東洋技研

測定地点	測定項目	測定期間（1か月毎）						環境影響評価調査時 ^{※1} （R2.2～R2.11で4回測定）				基準値 ^{※3}
		R5.9.25～ R5.10.25	R5.10.25～ R5.11.22	R5.11.22～ R5.12.20	R5.12.20～ R6.1.23	R6.1.23～ R6.2.26		R2.2.25～ 3.25	R2.4.20～ 5.19	R2.9.18～ 10.19	R2.11.2～ 11.30	
粉じん①	降下ばいじん (t/km ² /月)	0.55	0.68	0.64	0.54	0.73		1.14	1.90	0.30	0.56	10
粉じん② ^{※2}	降下ばいじん (t/km ² /月)	0.32	1.09	0.93	0.38	0.54						

※1 長竹公民館付近で測定。

※2 令和5年4月から測定。

※3 環境影響評価時に定めた参考指標。



図：降下ばいじんの測定結果